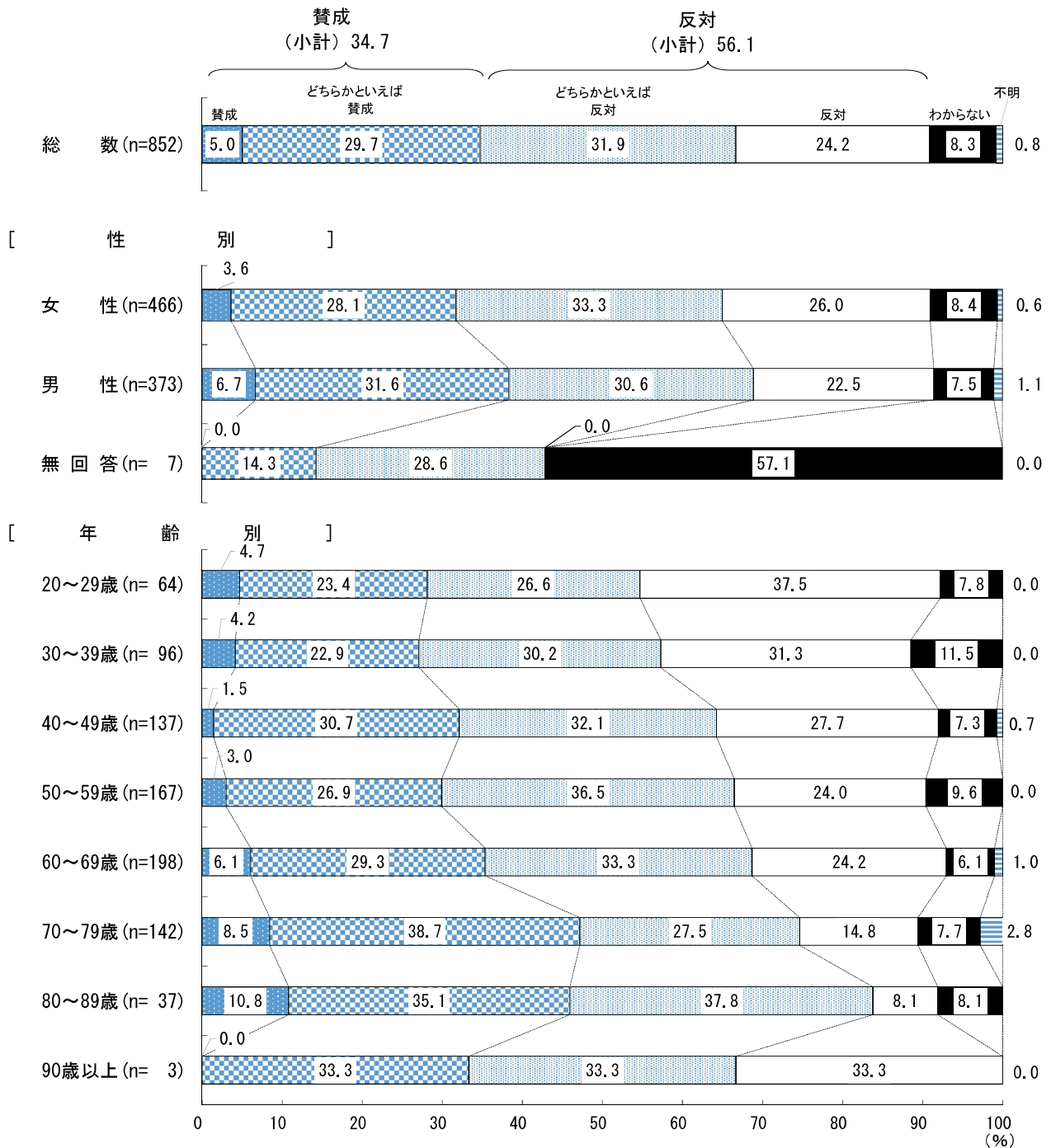


2 家庭における役割

問2 「妻は家庭を守り、夫は外で働く」という考え方についてお聞きします。
 (1) あなたの考え方に近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

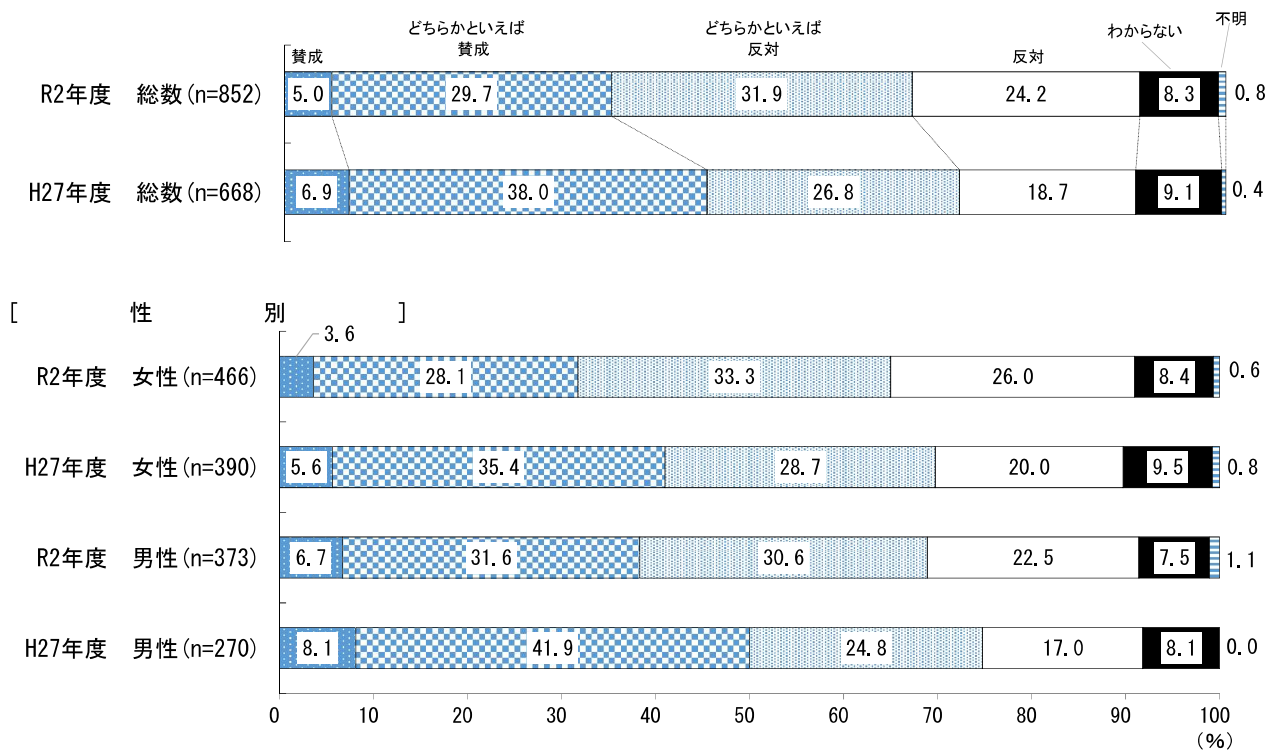
「反対」「どちらかといえば反対」をあわせた『反対』が56.1%であり、「賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせた『賛成』の34.7%を21.4ポイント上回っている。性別にみると、男女共に『反対』が多くなっているが、項目を個別にみると、女性は「どちらかといえば反対」の割合が最も多く、男性は「どちらかといえば賛成」と「どちらかといえば反対」が拮抗している。年齢別にみると、20歳代～60歳代は『反対』が多くなっている。

図2-1 家庭における役割に係る意見



前回調査と比較すると、『賛成』が10.2ポイント低下し、『反対』が10.6ポイント増加したため、『賛成』と『反対』の差が広がっている。性別にみると、男女共に『賛成』が少なくなり、『反対』が多くなっている。

図2-2 家庭における役割に係る意見（前回との比較）

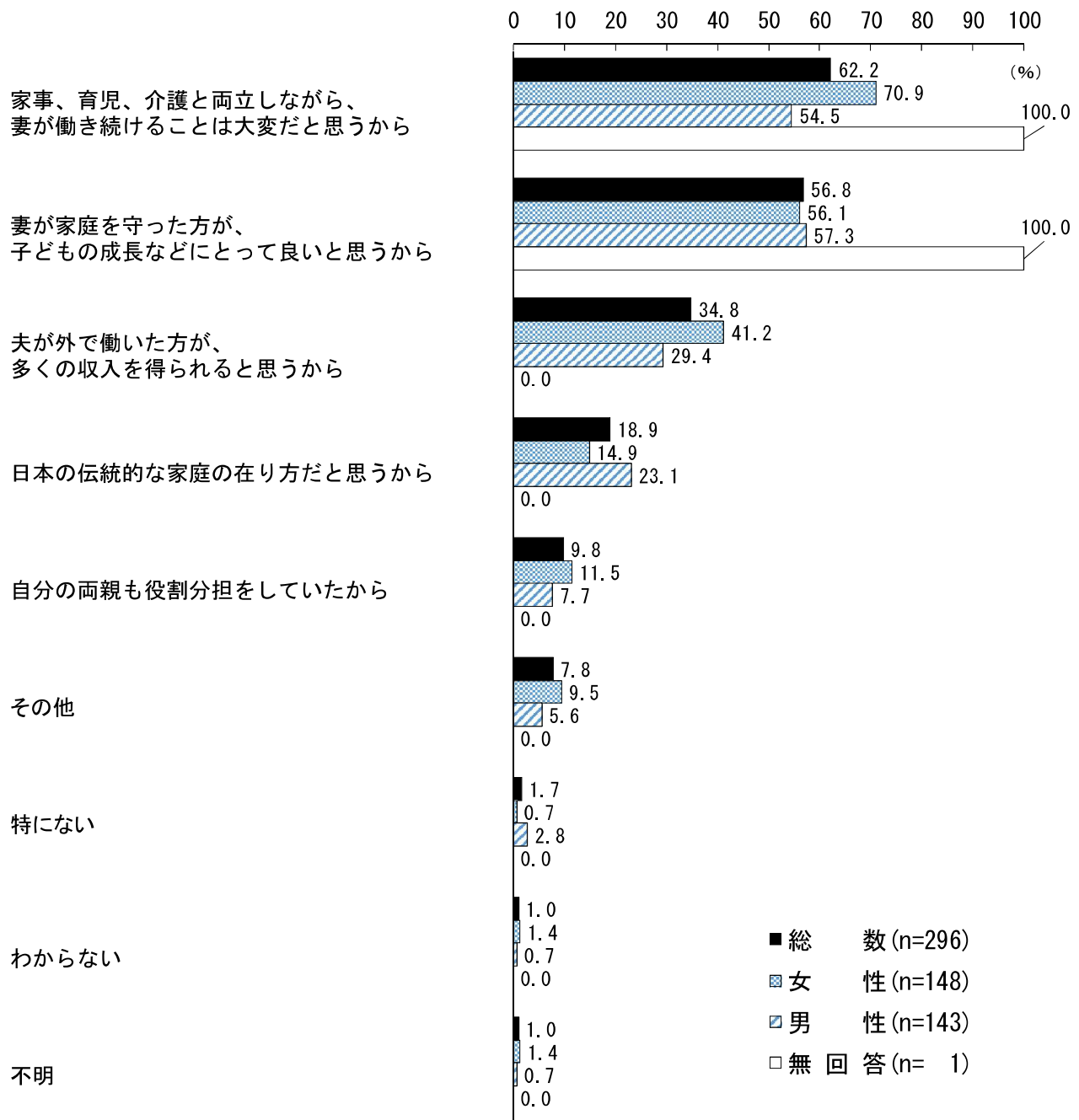


(2) (1)で「1 賛成」「2 どちらかといえば賛成」と回答した方にお聞きします。その理由について、あてはまるものを1～6の中からいくつでも選んで○をつけてください。特にない場合は、7に○をつけてください。わからない場合は、8に○をつけてください。

「妻は家庭を守り、夫は外で働く」という考え方に『賛成』の理由を聞いたところ、「家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」が62.2%で最も多く、次いで「妻が家庭を守った方が子どもの成長などにとって良いと思うから」が56.8%、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が34.8%となっている。性別にみると、女性は「家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」が最も多くなっている。男性は「妻が家庭を守った方が子供の成長などにとって良いと思うから」が最も多くなっている。

図2-3 賛成の理由

(複数回答)

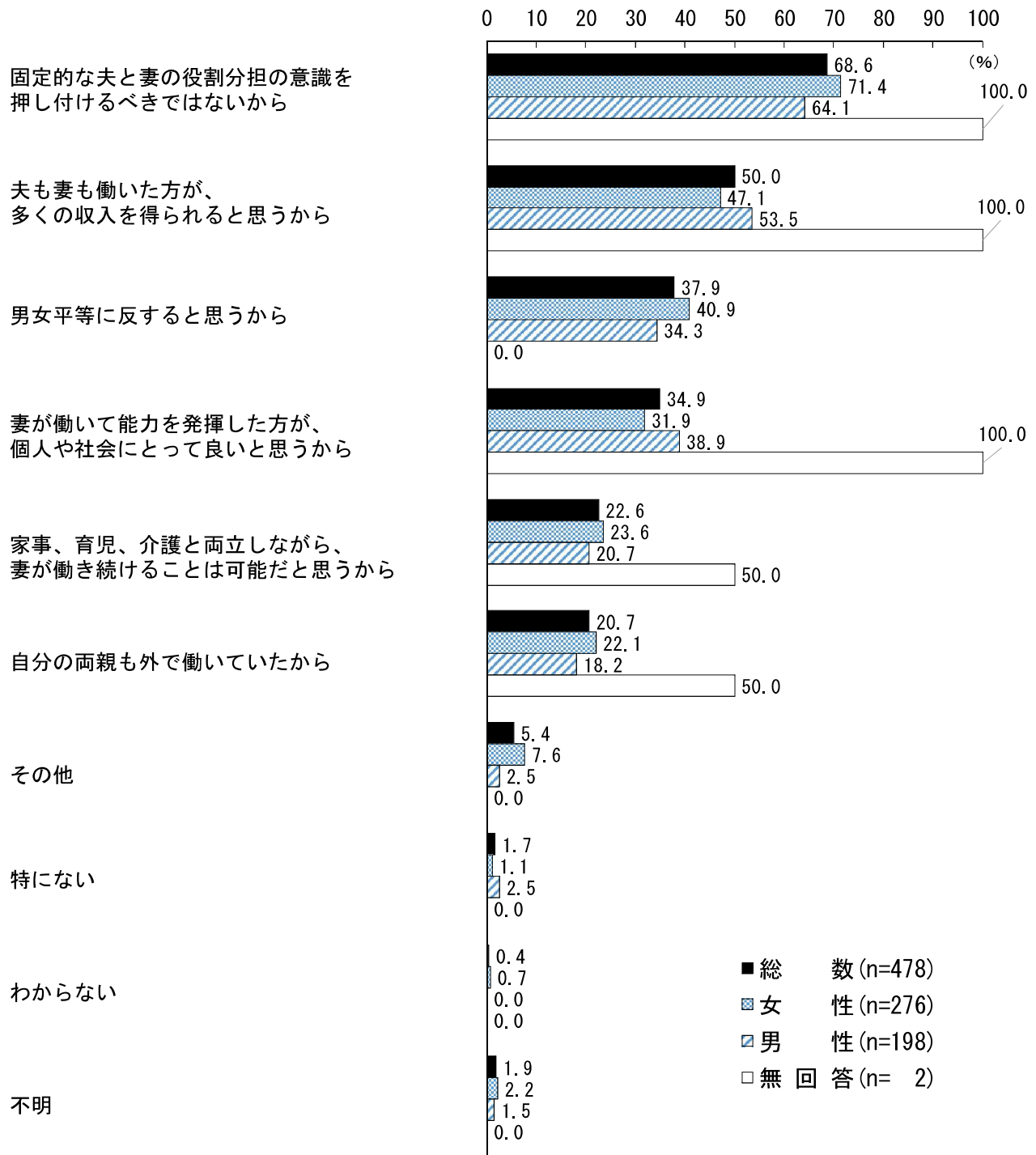


(3) (1)で「3 どちらかといえば反対」「4 反対」と回答した方にお聞きします。その理由について、あてはまるものを1～7の中からいくつでも選んで○をつけてください。特にない場合は、8に○をつけてください。わからない場合は、9に○をつけてください。

「妻は家庭を守り、夫は外で働く」という考えに『反対』の理由を聞いたところ、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではないから」が68.6%で最も多く、次いで「夫も妻も働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が50%、「男女平等に反すると思うから」が37.9%となっている。性別にみると、男性は「妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから」が3番目に多くなっている。

図2-4 反対の理由

(複数回答)

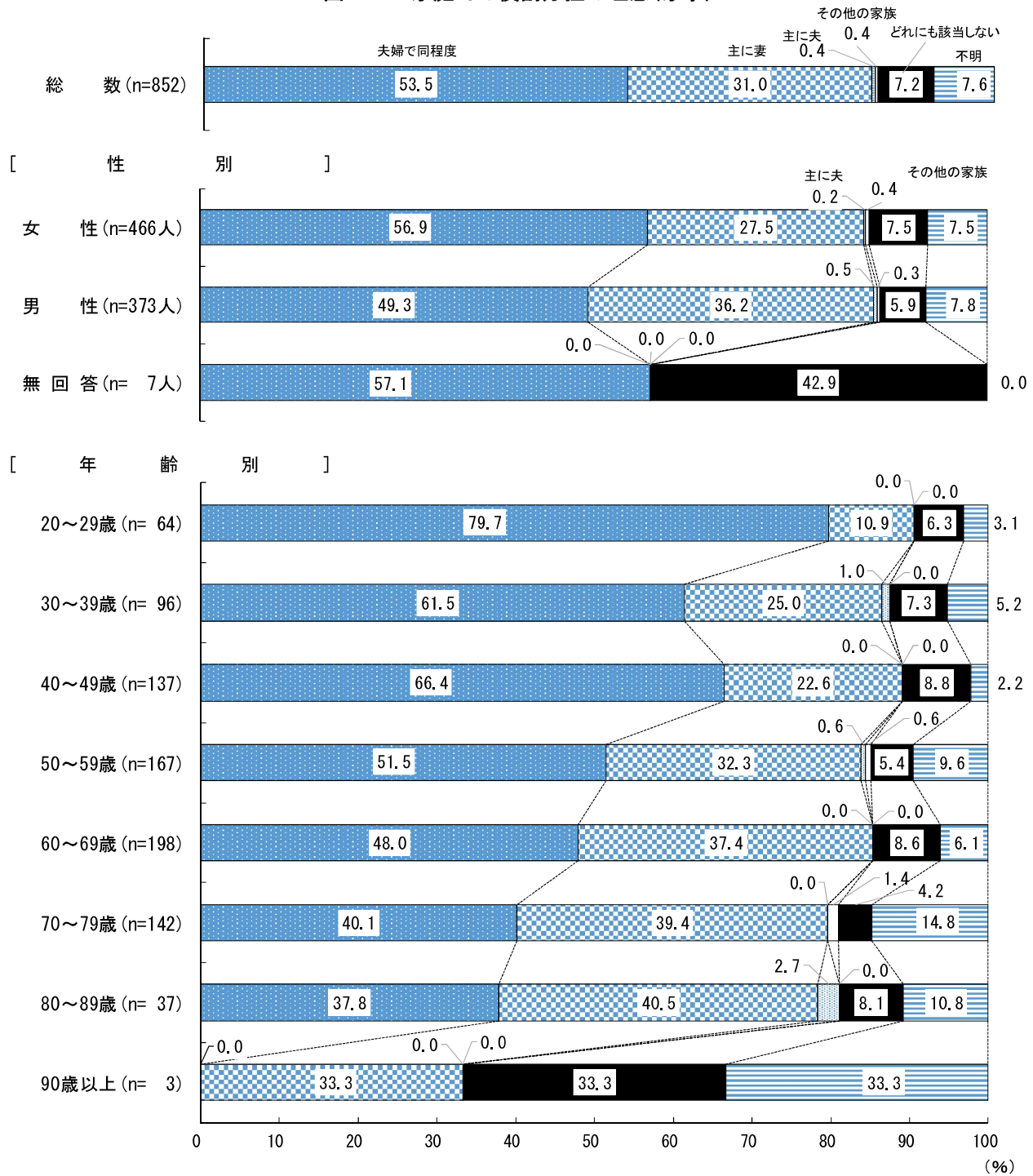


問3 あなたは、次のアからウについて、どのように分担するのがよいと思いますか。それぞれの項目について、1～5の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

ア 家事

家事について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が53.5%で最も多く、次いで「主に妻」が31%となっている。性別にみると、男女共に「夫婦で同程度」が最も多くなっている。年齢別にみると、20歳代では「夫婦で同程度」が約8割を占めている。

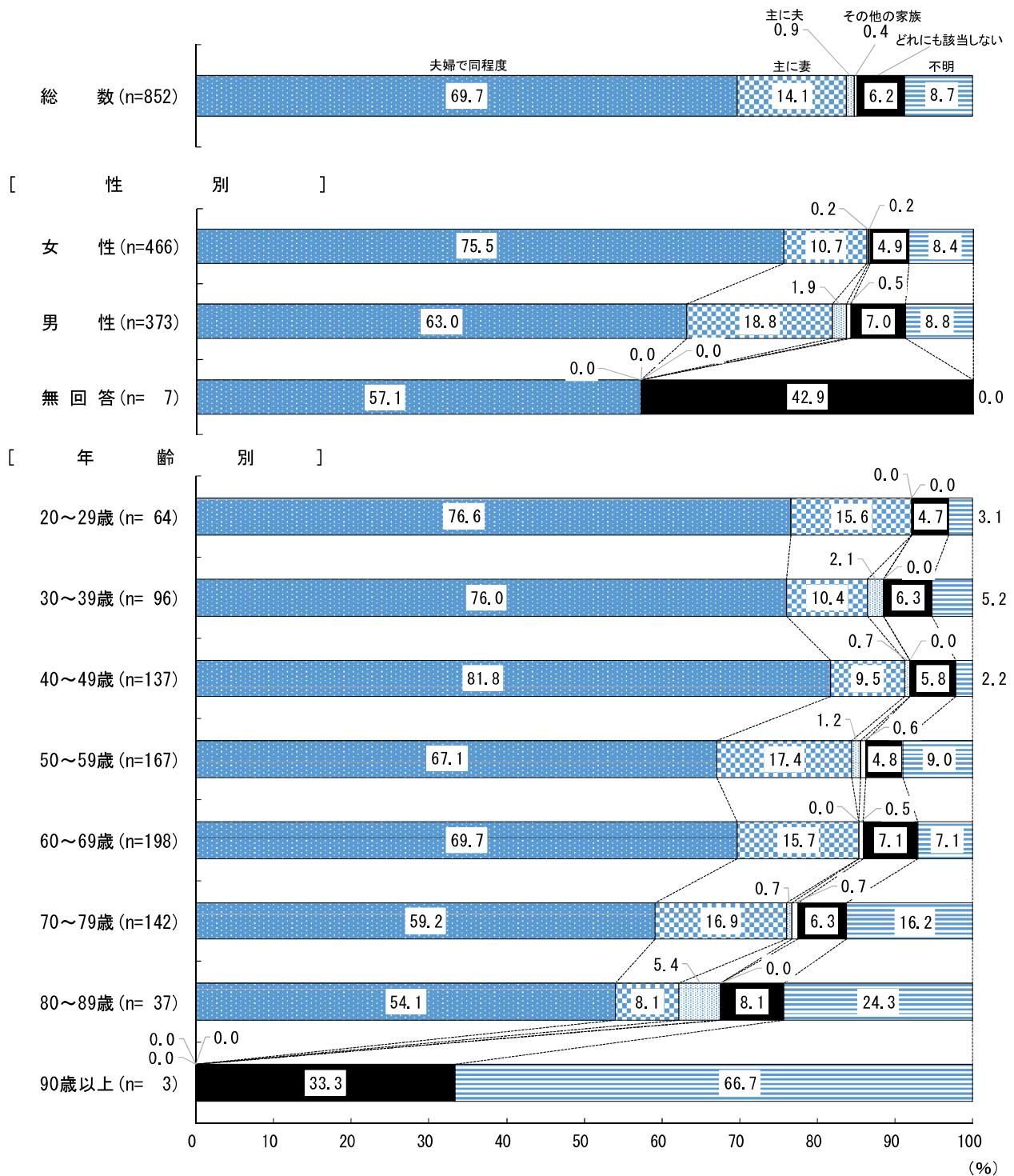
図3-1 家庭での役割分担の理想(家事)



イ 育児

育児について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が69.7%で最も多く、次いで「主に妻」が14.1%となっている。性別にみると、男女共に「夫婦で同程度」が最も多くなっている。年齢別にみると、どの年齢においても「夫婦で同程度」が最も多くなっている。

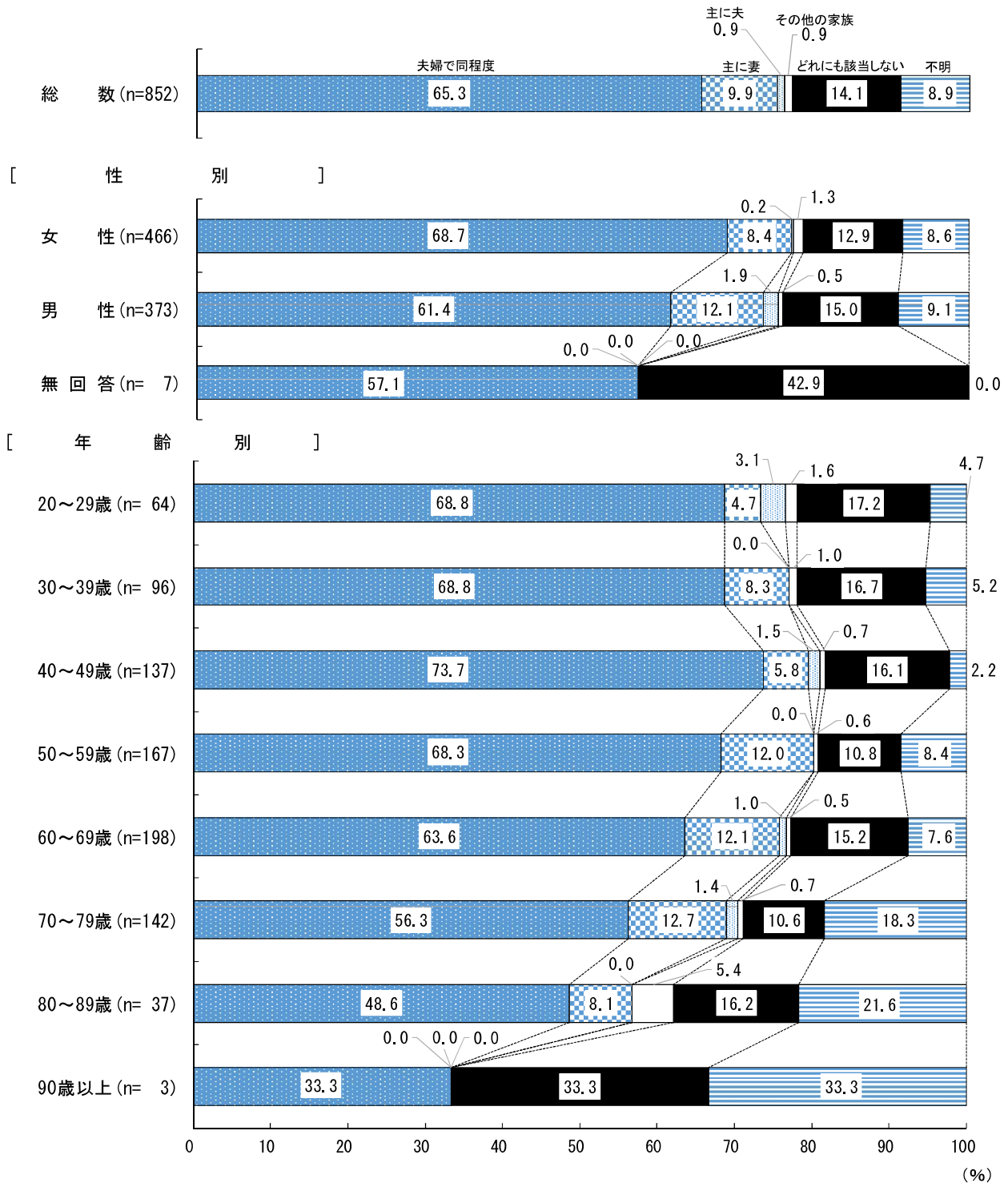
図3-2 家庭での役割分担の理想(育児)



ウ 介護

介護について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が65.3%で最も多くなっている。性別にみると、男女共に「夫婦で同程度」が最も多くなっている。年齢別にみると、どの年齢においても「夫婦で同程度」が最も多くなっている。

図3-3 家庭での役割分担の理想(介護)

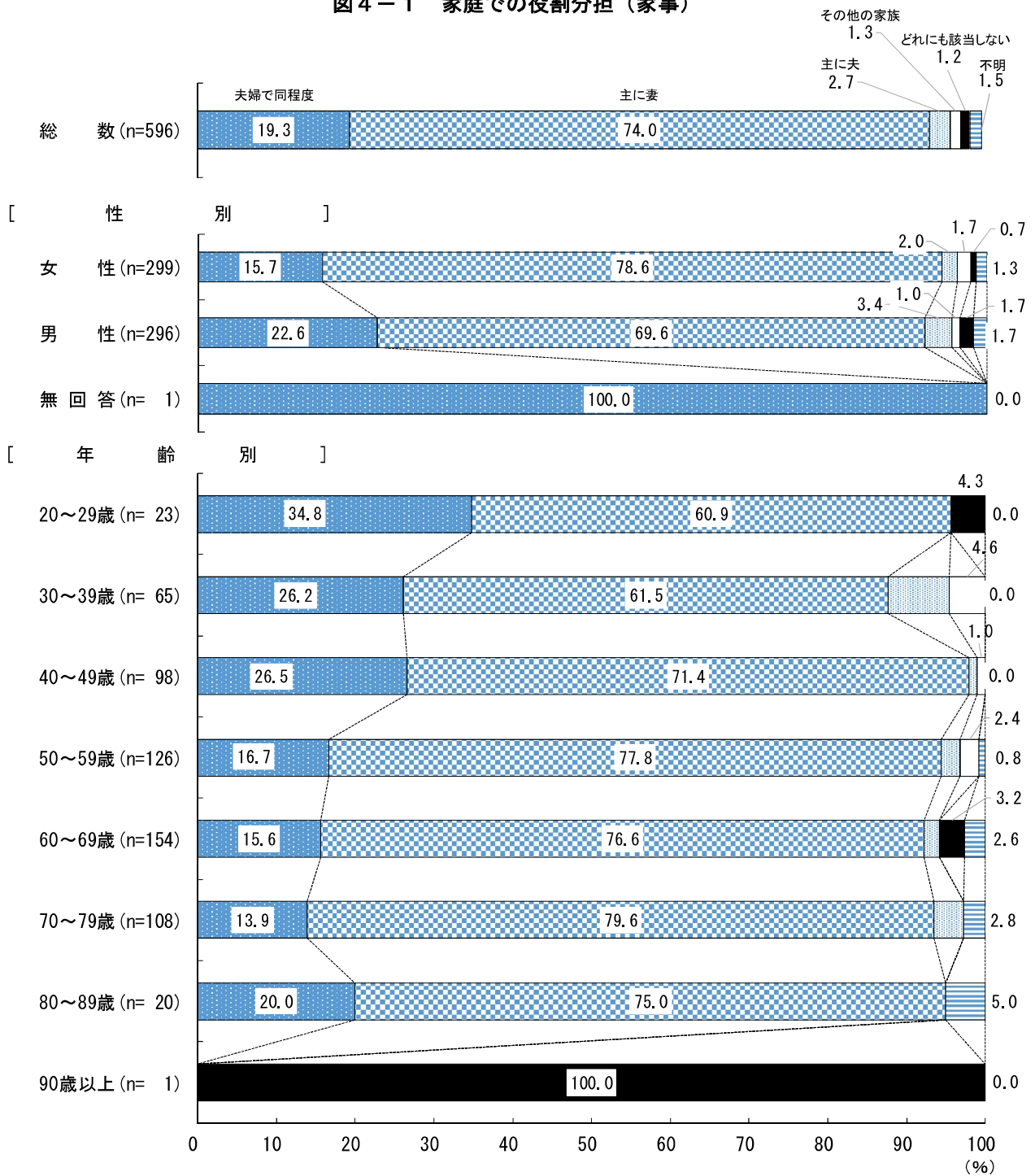


問4 現在結婚されている方（事実婚を含む）にお聞きします。あなたの家庭では、次のアからウについて、主にどなたが担当していますか。それぞれの項目について、1～5の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

ア 家事

現在結婚している人に、家事について家庭での役割分担を聞いたところ、「主に妻」が74%で最も多く、次いで「夫婦で同程度」が19.3%となっている。性別にみると、男女共に「主に妻」が最も多くなっている。年齢別にみると、どの年齢においても「主に妻」が最も多いが、20歳代は「夫婦で同程度」が他の年齢に比べて比較的多くなっている。

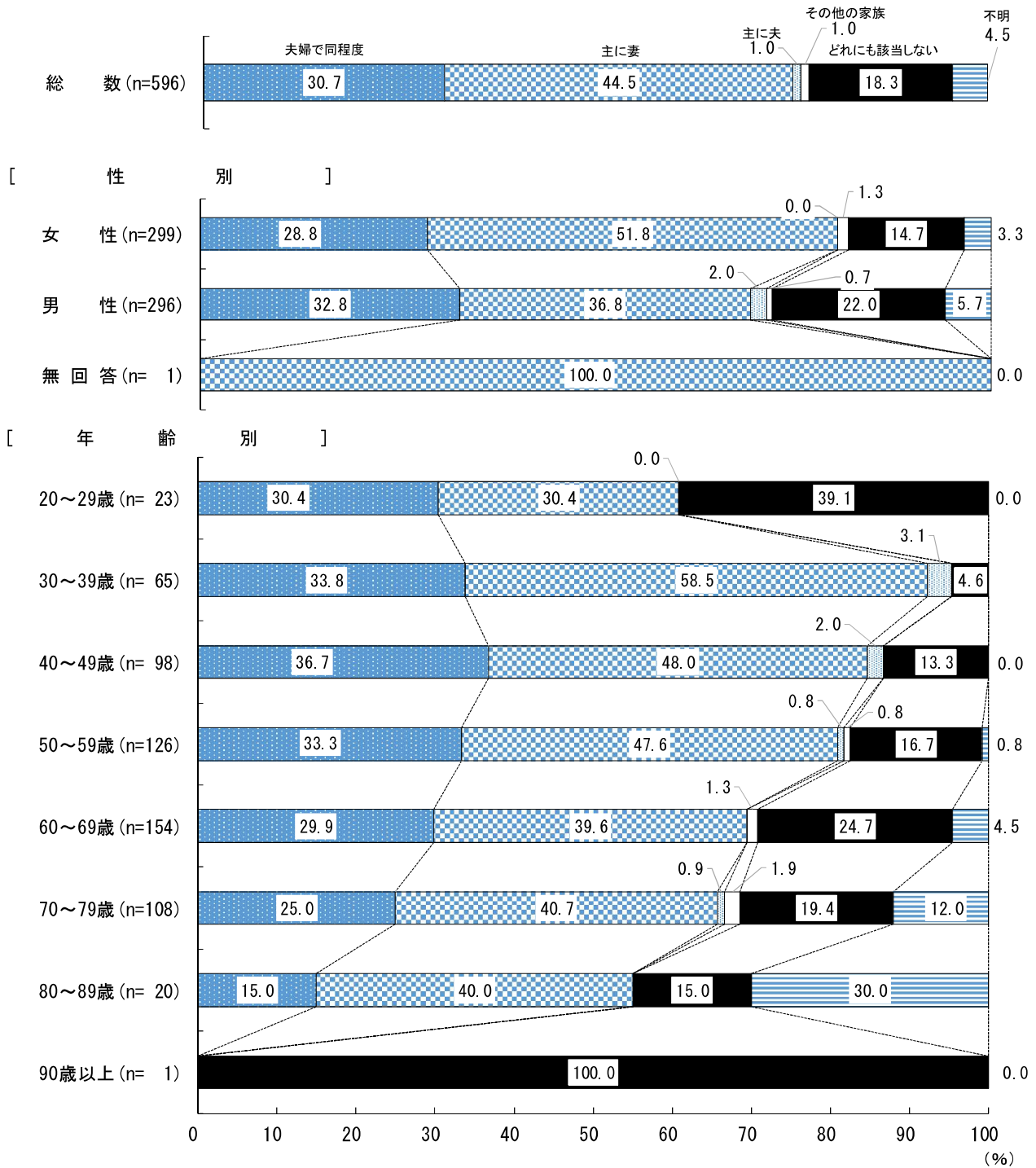
図4-1 家庭での役割分担（家事）



イ 育児

現在結婚している人に、育児について家庭での役割分担を聞いたところ、「主に妻」が44.5%で最も多く、次いで「夫婦で同程度」が30.7%となっている。性別にみると、男女共に「主に妻」が最も多くなっている。年齢別にみると、20歳代では「夫婦と同程度」と「主に妻」が同数になっている。

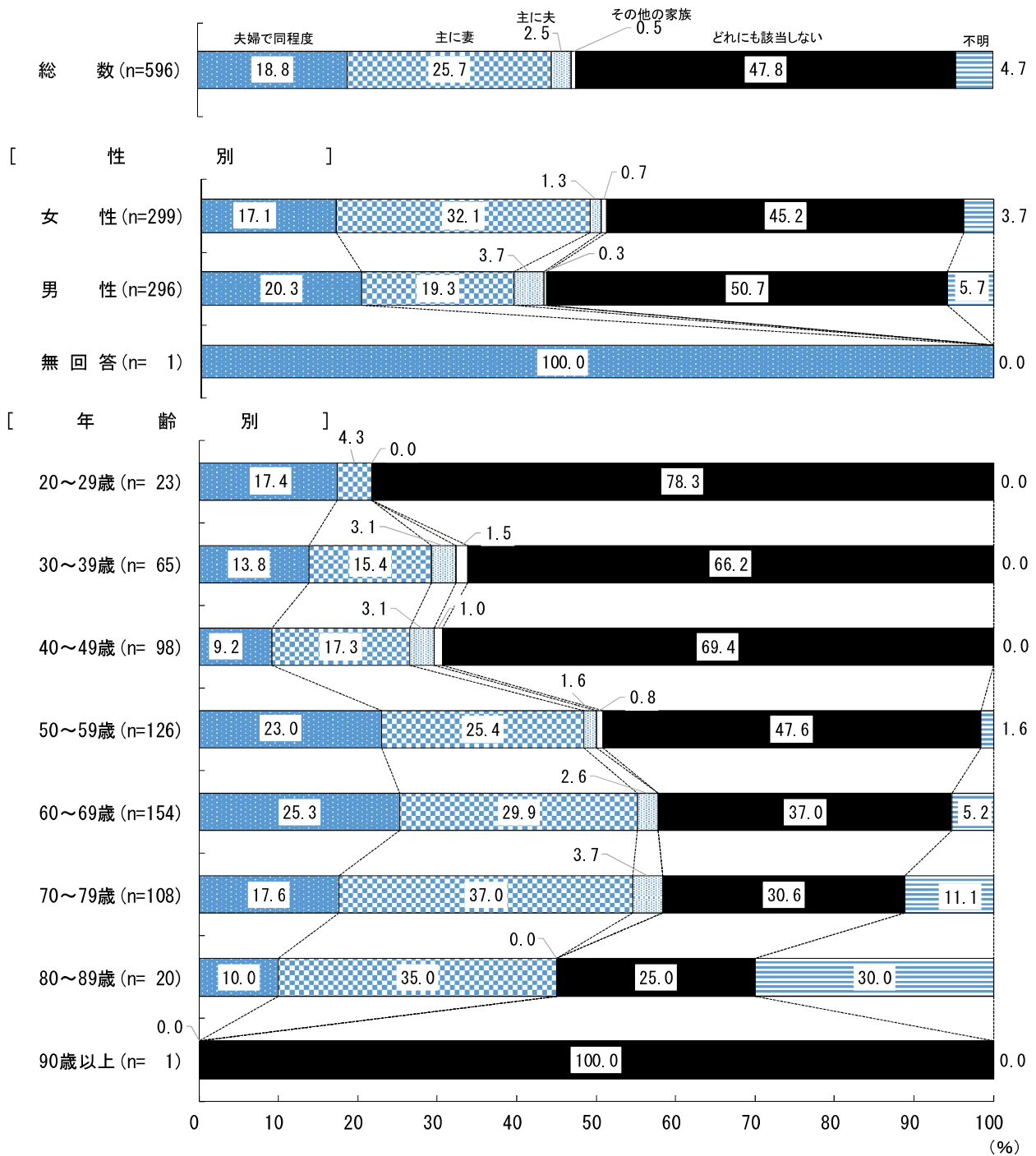
図4-2 家庭での役割分担（育児）



ウ 介護

現在結婚している人に、介護について家庭での役割分担を聞いたところ、「どれにも該当しない」が47.8%で最も多く、次いで「主に妻」が25.7%となっている。性別にみると、男女共に「どれにも該当しない」が最も多くなっている。年齢別にみると、70歳代及び80歳代は「主に妻」が最も多くなっている。

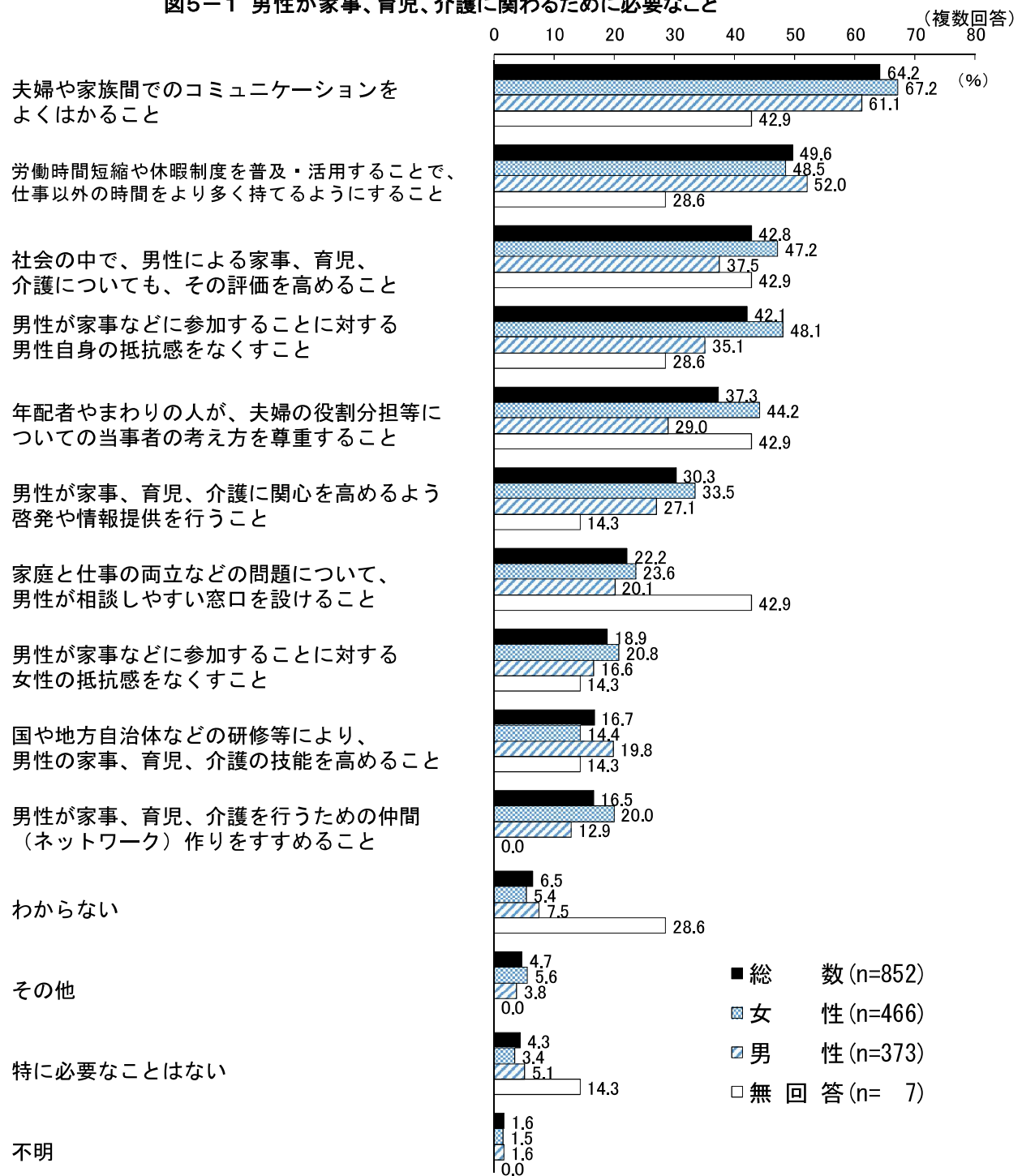
図4-3 家庭での役割分担（介護）



問5 あなたは、今後、男性が家事、育児、介護に積極的に関わり、役割を分担していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを1～11の中からいくつでも選んで○をつけてください。特に必要なことはない場合は、12に○をつけてください。わからない場合は、13に○をつけてください。

「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が64.2%で最も多く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及・活用することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が49.6%、「社会の中で、男性による家事、育児、介護についても、その評価を高めること」が42.8%となっている。性別にみると、女性は「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が3番目に多くなっている。

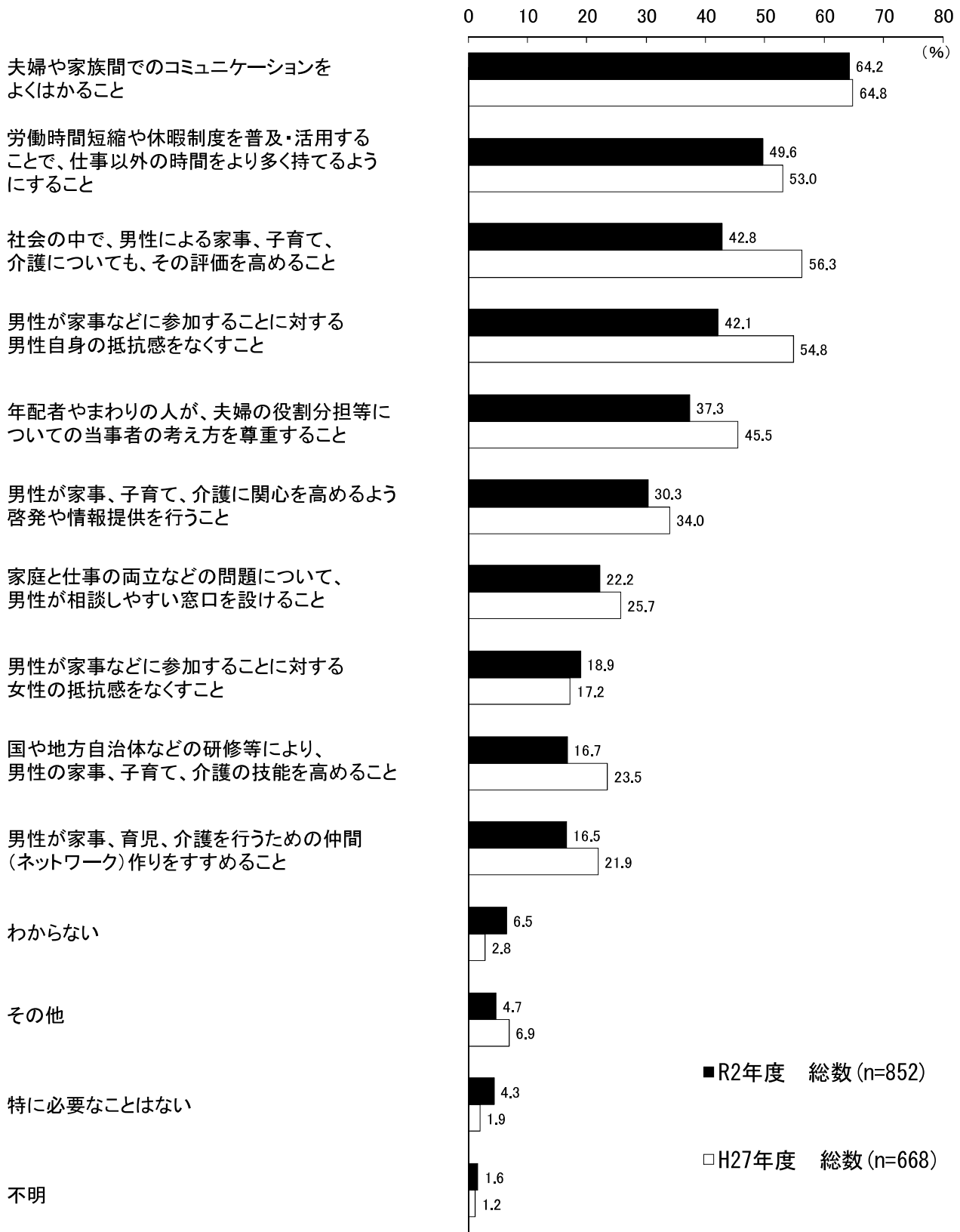
図5-1 男性が家事、育児、介護に関わるために必要なこと



前回調査と比較すると、前回4番目に多かった「労働時間短縮や休暇制度を普及・活用することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が、今回2番目に多くなっている。

図5-2 男性が家事、育児、介護に関わるために必要なこと(前回比較)

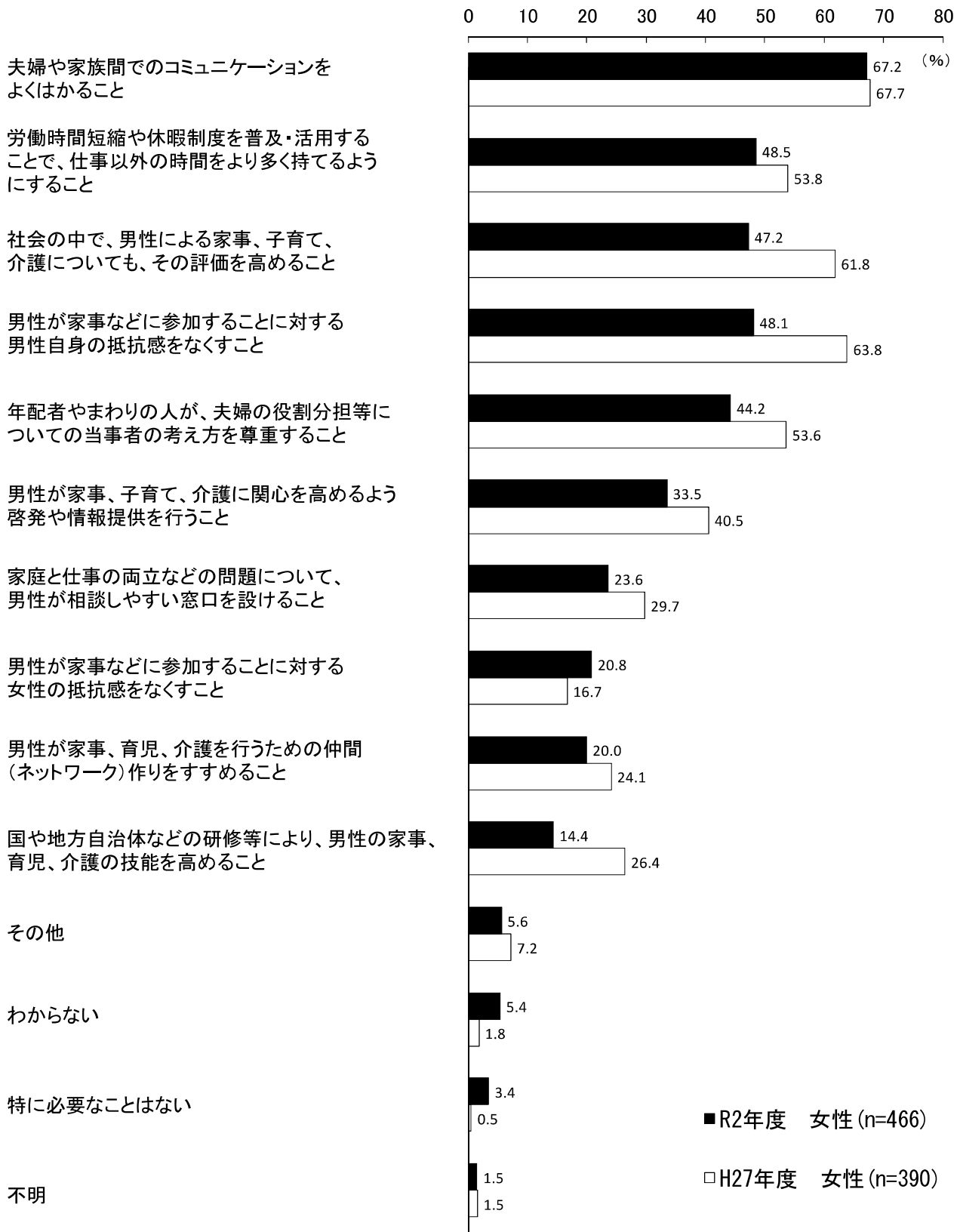
(複数回答)



前回調査と比較すると、前回4番目に多かった「労働時間短縮や休暇制度を普及・活用することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が、今回2番目に多くなっている。

図5-3 男性が家事、育児、介護に関わるために必要なこと(前回比較・女性)

(複数回答)



前回調査とほぼ同様の傾向となっている。

図5-4 男性が家事、育児、介護に関わるために必要なこと(前回比較・男性)

(複数回答)

